

もう一度見直してみよう

携帯とインターネットの使い方を



「掲示板」といえば生徒諸君は携帯やインターネットを連想するでしょう。しかし私のような古い世代の者にとって「掲示板」といって思い出されるのは学校の中や駅の構内にあった黒板です。「掲示」を国語辞典で調べてみると「人の目につく所に広く知らせるべき伝達事項などを、掲げ示すこと」とあります。ですからもともと「掲示板」はそのように人が通るような所に掲げられているもののことを示していました。（駅などには現在も掲示板はあるのでしょうか？）

駅や学校にある（あった）「掲示板」と携帯やインターネットの掲示板には完全な違いが存在します。生徒諸君はわかりますか？それは「特定の人に伝わるか」それとも「不特定の人に伝わるか」の違いです。

例えば学校の玄関に掲示板があってそこに情報があつたとします。その情報は他の道具（例えば携帯やデジカメなど）を使わない限り、学校の玄関に行かなければ見ることはできません。基本的に「いつ」「どこで」「誰」がその情報を手に入れられるかはっきりしています。（この場合であれば掲示がある時間に学校の玄関に行かないと情報は手に入らない。）

しかし携帯やインターネットの掲示板はそうはいきません。

誰が見ているかという「世界中の人」
いつ見ているかという「世界中でいつでも」
どこから見ているかという「世界中のどこからでも」

よく考えてみると恐ろしくないですか？「いつ」「どこで」「誰が」それを目にしているか分からない。携帯とインターネットにはそういう世界があるのです。

ネット上には情報をコピーしたり、悪用したりする人も残念ながら存在します。ということは携帯やインターネットの世界ではいったん出回った情報はもう二度と削除が不可能になることを意味します。携帯でブログやプロフを作成するということは自分の個人情報盗まれてしまう危険性があるということになります。

また、ネット上での誹謗中傷は犯罪となります。しかもそれは上記同様、決してネット上から削除できません。面と向かって言えないことをネット上で流すと大変なことになります。

生徒諸君の中には「携帯やインターネットは安全だ」と思っている諸君も少なくないのかもしれない。しかしここまで述べてきたようにネット社会には危うい部分も多く存在します。「誰が見ているか分からない」「自分や周りの人や知らない人を傷つけてしまうかもしれない」ということも考えた上で携帯やインターネットとつきあってほしいと思います。